

学校教育目標

校訓：自主・協調・友愛

未来を切り拓く2つの「じりつしん(自律心・自立心)」を養おう

重点目標

「自ら学ぶ力」を養う授業を目指す

目指す学校像

- ・楽校⇒楽しいところ
- ・律校⇒規律あるところ
- ・学校⇒学ぶところ

目指す生徒像

- ・自分も仲間も大切にできる人
- ・優しく思いやりのある人
- ・あいさつのできる人
- ・ことば遣いのていねいな人
- ・身だしなみのきちんとした人
- ・地域や社会に貢献できる人

職員努力目標

- ・力のつく授業の実践(主体的、対話的で深い学び)
- ・生徒指導の実践(心の教育)
- ・授業改善、業務改善
- ・教職員の資質向上

- ・教職員同士がつながり、生徒も教師も笑顔あふれる学校づくりを目指す
- ・家庭や地域と連携し、生徒の主体的な学びの実現を目指す

生徒の実態

- ・基礎学力の不足している生徒、特性に応じて配慮を必要とする生徒等、一人ひとりへの対応が必要な状況がある
- ・現状に満足せず向上心を持ち、自ら学習習慣や生活習慣を改善しようとする姿勢が求められる

生徒の発達をどのように支援するか
(配慮を必要とする生徒への指導)

- ・生徒理解、情報共有
- ・特性に応じた配慮や支援(ひまわり教室での学習、個に応じた支援)
- ・校内支援委員会の実施
- ・指導体制、支援方法の検討

重点項目

- ・基礎学力の定着(デジタルドリルの活用、質問教室と白学の継続実施)
- ・より良い生活習慣作り、家庭学習の充実(家庭への協力依頼)
- ・ボランティア活動の推進(地域連携/HPや校内掲示による発信)
- ・きまりの見直しの継続

1年生(55回生)学年目標

和

～優しい人・素直な人・礼儀正しい人～

2年生(54回生)学年目標

こころ54

～すべては日常の中に～

3年生(53回生)学年目標

誠 makoto

～真・信・実～

① 何を学ぶか(育成しようとする力)

- ・教科横断的な視点に立った、「言語能力」「情報活用能力」の育成
- ・教科の特性を生かした「問題発見・課題解決能力」の育成

② どのように学ぶか(具体的な方法)

- ・単元のまとまりや授業でのふりかえりを大切にして、粘り強く課題解決に取り組む力を養う
- ・ICT機器活用ならびにグループ活動の充実
- ・自ら目標や課題を見つける主体的な学びの充実

③ 実施するために何が必要か

- ・指導体制の充実(職員間の情報共有と共通理解、家庭や地域との連携)
- ・学校運営協議会の実施(年3回6月、12月、2月)

安心・安全を守る

- ・日常の学校生活の安全面での見直しや注意
- ・生徒や保護者に寄り添う姿勢
- ・誰もが安心・安全に過ごせる学校を目標に

開かれた学校づくり

- ・S活、学校運営協議会、地域との協力
- ・すぐーや学校HPによる情報発信
- ・授業公開や学校行事への保護者参加

令和7年度 神戸市立白川台中学校

校 訓

自主・協調・友愛

教 育 目 標

未来を切り拓く 2つの「じいつしん(自律心・自立心)」を養おう

重 点 目 標

「自ら学ぶ力」を養う授業を目指す

● 目指す学校像

楽 校（がっこう） ⇔ 楽しいところ

律 校（りっこう） ⇔ 規律あるところ

学 校（がっこう） ⇔ 学ぶところ

● 目指す生徒像

- 自分も仲間も大切にできる人
- 優しく思いやりのある人
- あいさつのできる人
- ことば遣いのていねいな人
- 身だしなみのきちんとした人
- 地域や社会に貢献できる人

- ・ 子供にとって最大の教育環境は教師自身である
- ・ 誰もが安心・安全に過ごせる学校づくりを目指す